



# LAP

Version 1.1

## 日本語マニュアル

# はじめに

LAP をご購入いただきありがとうございます。

このソフトウェアは、Pro Tools / Studio One をリモート操作できるマニピュレーター向けのものです。

このソフトウェアやマニュアルを運用した結果およびその影響につきましては、一切責任を負いかねますのでご了承ください。

仕様は改良のため、予告なく変更することがあります。

記載の社名および製品名は、各社の商標/登録商標となります。

## [バージョン情報]

2022.04.01 - Version1.0 公開

2023.01.04 - Version1.1 公開

# LAP とは

LAP の機能をご紹介します。

## 【ロケート】

LAP から DAW へ、ショートカットキーとマーカー番号もしくは小節番号を送信することにより、予め設定した位置へロケートすることが出来ます。

## 【オートロケート】

DAW 上で曲の終わりの位置に MIDI ノートを貼り付け LAP へ送信させることにより、曲が終わると DAW を STOP させて予め設定した次曲の始まりの位置へ自動的にロケートすることが出来ます。

## 【DAW の操作】

LAP から DAW へショートカットキーや MMC を送信することにより、DAW の再生/停止操作を行うことができます。キーボードショートカットでの操作は、LAP がコンピューター上で有効になっている状態でも DAW と同じ操作ができます。MMC は常に操作ができる状態です。

### LAP でアサインされているキーボードショートカット

Pro Tools	「テンキーの 0」再生/停止 「Space」再生/停止 「Tab」次のリージョン位置へ移動
Studio One	「テンキーの 0」停止 「Enter」再生

## 【外部 MIDI コントローラーからの操作】

LAP 上での操作を外部 MIDI コントローラーからリモートすることができます。

### LAP で使用する用語

「Song」曲名  
「Show」公演名  
「Set List」曲順表  
「Cue」曲を出すきっかけ/メモ  
「オートロケート」曲が終わると次曲のスタート位置へ自動的にロケートする機能

# Chapter 1：インストールと権限の設定

ソフトウェアのインストール方法をご案内致します。

1、「LAP」を「アプリケーション」フォルダにコピーしてください。

2、OS付属「システム環境設定」→「セキュリティとプライバシー」→「アクセシビリティ」→「プライバシー」を開きます。

「+」ボタンからアプリケーションフォルダにコピーした「LAP」を選択、もしくはアプリケーションの欄にアプリケーションフォルダにコピーした「LAP」をドラッグして、「LAP」から各DAWを操作できる権限を設定します。



## Chapter 2：仮想 MIDI ドライバの設定

オートロケート機能を使用しない場合は、これらの設定は不要です。

1、OS付属「Audio MIDI設定」→「MIDIスタジオ」→「IACドライバ」を開きます。



2、「ポート」の項目から「+」をクリックし、ポートを1つ追加します。



3、装置名とポート名を任意の名前に変更、「装置はオンライン」にチェックを入れ「適用」をクリックします。

※文字化けすることがあるため、装置名とポート名は半角英数字を推奨します。



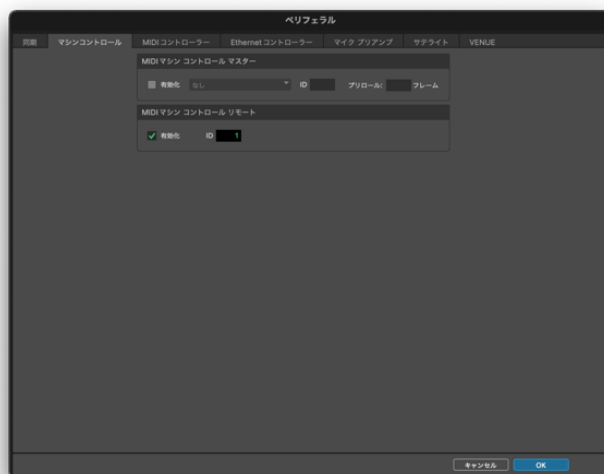
## Chapter 3-1 : DAW - MMC の設定

オートロケート機能を使用しない場合は、こちらの設定は不要です。

### ■ Pro Tools

Pro Toolsの「設定」→「ペリフェラル」→「マシンコントロール」を開きます。

「MIDIマシン コントロール リモート」の「有効化」にチェックを入れ、「ID」に [Preference] で設定したMMC DeviceIDの番号を入力します。



### ■ Studio One

Studio Oneの「環境設定」→「詳細」→「同期」を開きます。

「外部デバイスに同期」にチェックを入れ、「MIDIマシンコントロール」のプルダウンメニューから先ほど設定したIACドライバを選択します。

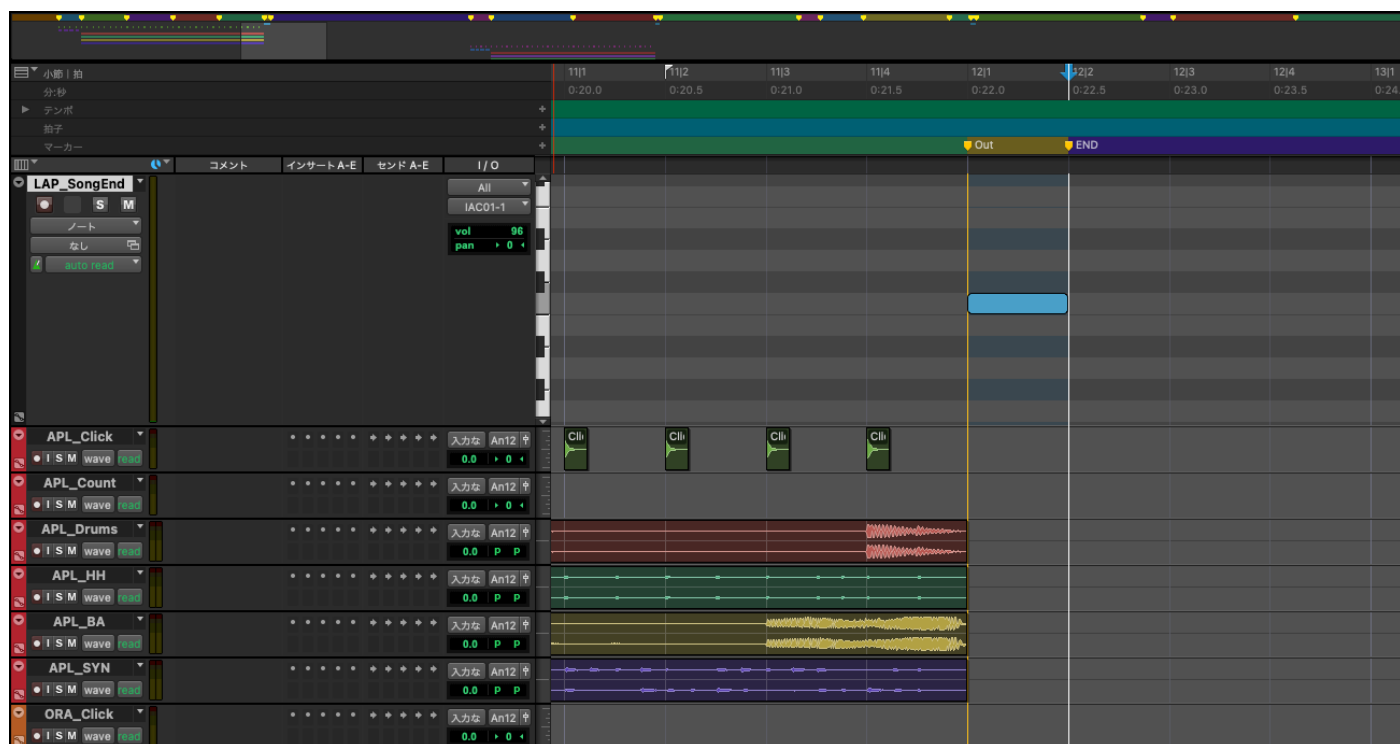


## Chapter 3-2 : DAW – MIDIトラック作成

オートロケート機能を使用しない場合は、こちらの設定は不要です。

各DAWでライブ用データを製作したら、曲が終わったことをLAPへ知らせるためのMIDIトラックを作ります。

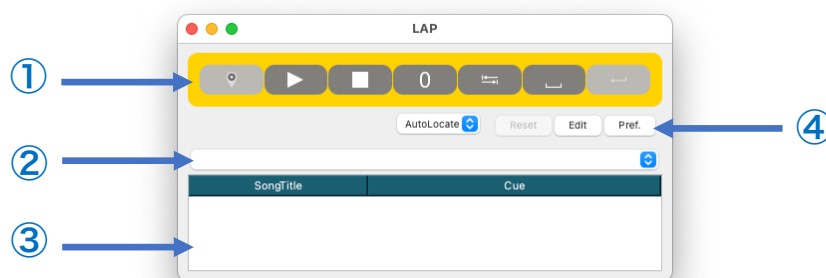
### ProToolsでの例



- MIDI送信先 : Chapter2で設定したIACドライバを選択
- MIDIノート : C1 (Velocity 1~127)  
→ LAPはMIDIノートOffの信号を検知します






※ProToolsの場合、バージョンによってOff Velocityを64に設定しているとLAPが反応しない事があります。うまく動作しない場合は、64以外の数値を指定してください。

## Chapter 4 : Main ウィンドウ各部の名称



### ① アクティブウィンドウ / ショートカットボタン

黄色くなっている枠がコンピュータ上で LAP が画面操作できる状態を確認するウィンドウです。ここが灰色の枠になると、他のアプリケーションが操作できる状態になっています。また、各ボタンは LAP や DAW の操作をするためのボタンです。

-  LOCATE
-  MMC PLAY / STOP
-  ProTools 用キーボードショートカット 「 Tab (次のリージョン位置へ移動) 」
-  ProTools 用キーボードショートカット 「 テンキー0, Space (再生/停止) 」
-  StudioOne 用キーボードショートカット 「 テンキー0 (停止) 」 「 Enter (再生) 」

### ② ショーセクター

使用する Show を選択するメニューです。

### ③ セットリストウィンドウ

ショーセクターで選択したショーのセットリストを表示します。

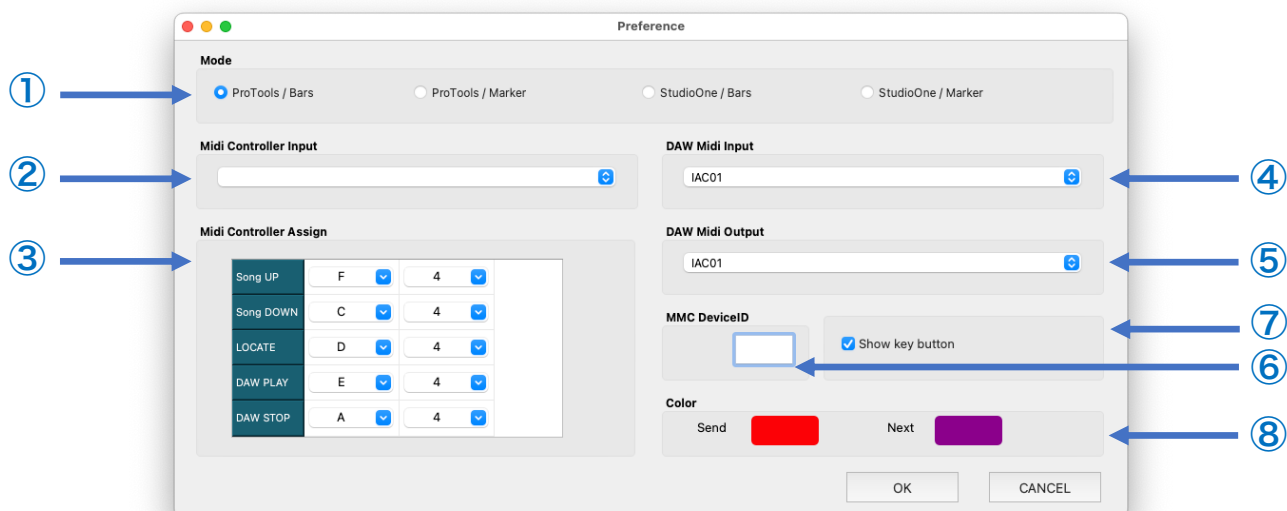
### ④ 機能ボタン

AutoLocate	オートロケート機能の ON/OFF が選べます [AutoLocate] オートロケートモード [AutoStop] 曲が終わると DAW を自動的にストップ、次曲のロケートはマニュアルで行うモード [Manual] 全ての機能をマニュアルで行うモード
Reset	LAP 操作中に Edit/Pref.ウィンドウを誤って開かないためにロックがかかります。 それを解除するボタンです。
Edit	ショーやセットリストの編集ウィンドウを開きます。
Pref.	LAP の設定ウィンドウを開きます。



## Chapter 5 : LAP の設定をする

Main ウィンドウの「Preference」ボタンをクリックすると、下記画面が開きます。



### ① Mode

ProTools と StudioOne に対応しております。

また、曲の位置を指定する方法として、「小節番号 (Bars)」と「マーカ番号 (Marker)」を選ぶことが出来ます。

#### 【StudioOne / Marker モード使用時に必要な設定】

下記ショートカットを Studio One 側で変更してください。

「マーカを呼び出す」

コマンド + テンキーの . (ピリオド) → コマンド + ; (セミコロン)

### ② Midi Controller Input

LAP を MIDI コントローラーで操作する場合に、入力する MIDI 装置を選択します。

### ③ Midi Controller Assign

上記で設定した MIDI コントローラーで、LAP の各機能にアサインする MIDI ノート番号を指定します。  
なお、MIDI ノート番号は国際式を採用しています。入力する MIDI 装置によって異なる場合がありますので、MIDI 装置からの入力を確認出来ない場合はアサインするノート番号を変更してみてください。

#### MIDI コントロール出来る LAP の操作

Song UP	Main ウィンドウ上のセットリスト中の曲を、上下選択することが出来ます。
Song DOWN	
LOCATE	DAW の再生位置を Main ウィンドウ上で選択している曲の位置へ移動させます。
DAW PLAY	MMC を送信することにより、DAW の再生/停止をリモートコントロールすることが出来ます。
DAW STOP	

### ④ DAW Midi Input

### ⑤ DAW Midi Output

DAW のスタートとストップを LAP からリモートする場合、  
またオートロケートを使う場合は Chapter2 で設定した IAC ドライバを選択します。

### ⑥ MMC DeviceID

DAW のスタートとストップを LAP からリモートする場合、  
またオートロケートを使う場合は任意番号（1～127）を入力します。

### ⑦ Show key button

Main ウィンドウのショートカットボタンを表示/非表示することが出来ます。

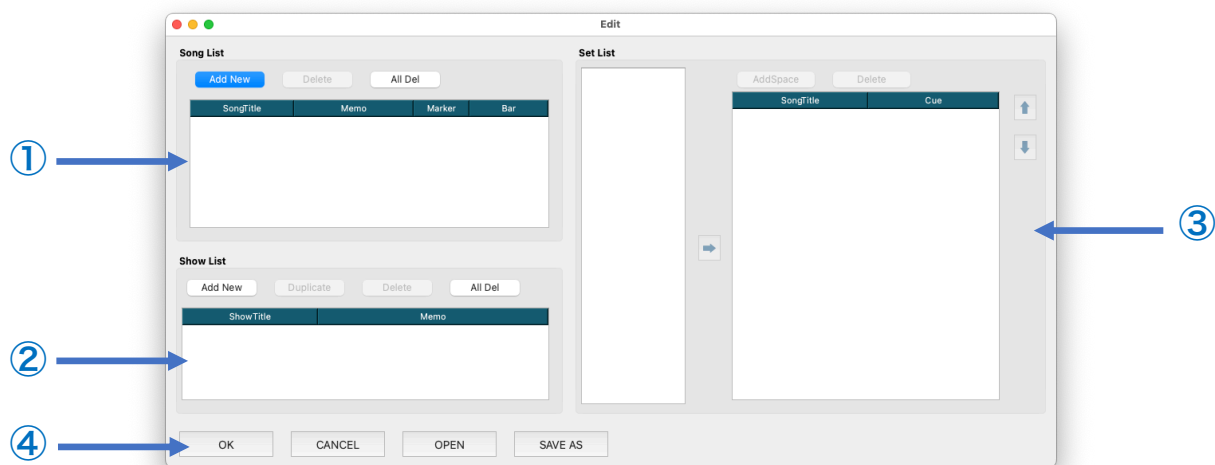
### ⑧ Color

Main ウィンドウセットリスト内の文字色を変更することが出来ます。

Send	現在ロケートされている曲の SongName
Next	次にオートロケートされる曲の SongName

## Chapter 6 : セットリストを編集する

[Edit] ウィンドウを開きます。



### ① Song List

使用する楽曲の情報を入力します。

[Add New] ボタンをクリックして楽曲情報の入力欄を作成し、各情報を入力します。

SongTitle	曲名
Memo	曲の情報（尺やバージョン等）を記入するためのメモスペース
Marker	DAW で使用している、曲のスタート位置のマーカ番号
Bar	DAW で使用している、曲のスタート位置の小節番号

Marker/Bar は、使用するモードに該当する番号の入力のみで大丈夫です。

曲を選択し [Delete] をクリックすると選択した楽曲情報を削除することが出来ます。

また、[All Del] をクリックするとリスト内の楽曲情報一括削除することが出来ます。

### ② Show List

公演の情報を入力します。

[Add New] ボタンをクリックして公演内容の入力欄を作成し、各情報を入力します。

ShowTitle	公演名
Memo	公演の情報を記入するためのメモスペース

公演を選択し [Delete] をクリックすると選択した楽曲情報の入力欄を削除することが出来ます。

[Duplicate] をクリックすると選択した公演内容を複製することが出来ます。

また、[All Del] をクリックするとリスト内の公演内容を一括削除することが出来ます。

### ③ Set List

Show List で選択しているセットリスト内容を入力します。

左欄に Song List で作った楽曲リストが表示されています。

セットリストに入力したい曲を選択して **[→]** ボタンをクリックすると、右欄に曲の情報が入力されます。

MC やアンコールの位置など曲以外の情報を Set List に入力したい場合は、入力したい位置で **[Add Space]** ボタンをクリックすると入力欄が作成されます。項目をダブルクリックすると内容を編集することが出来ます。

Song や Space を選択し、**[Delete]** をクリックすると選択した項目を削除することが出来ます。

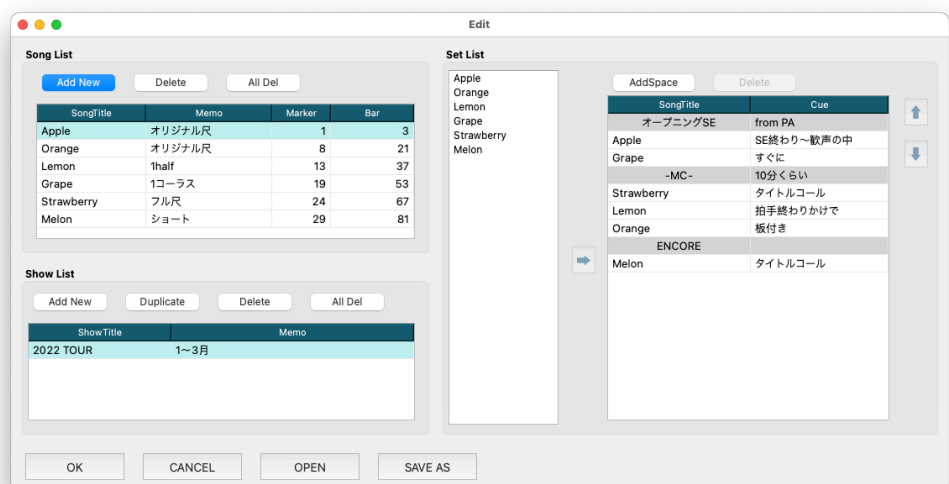
Song や Space の順番を変えたい時は、項目を選択し **[↑]** **[↓]** ボタンをクリックすることにより移動することが出来ます。

### ④ 操作ボタン

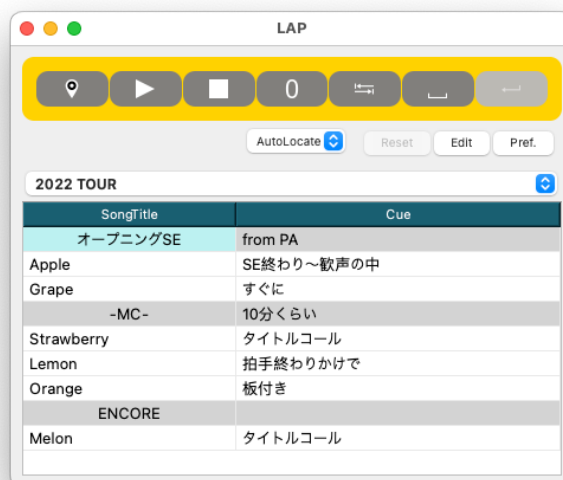
OK	編集内容を保存し、Edit ウィンドウを閉じます
Cancel	編集内容を破棄し、Edit ウィンドウを閉じます。
OPEN	書き出した編集内容を読み込みます
SAVE AS	編集内容を書き出します

Edit ウィンドウの編集内容は **[OK]** をクリックするとアプリケーションに自動保存されます。  
他の場所へ書き出しや読み込みを行いたい場合は、**[SAVE AS]** **[OPEN]** を使用してください。

設定例（例では Marker/Bar 両方入力していますが、選択したモードの数値のみで大丈夫です）



## Chapter 7 : LAP の操作方法



### 【ロケート】

手動で曲を選択してロケートさせるには、送信したい SongTitle をダブルクリック、もしくはクリック後ロケートボタンを押す。または、アサインした MIDI コントローラーで Song を上下選択し LOCATE してください。

### 【オートロケート】

- 1、1 曲目の SongTitle をダブルクリックし、ロケートさせます。
- 2、DAW をスタートさせます。曲が終わると DAW が STOP され、次曲の頭の位置へロケートされます。
- 3、DAW をスタートさせると、次が始まります。これを繰り返していきます。

公演中にオートロケートさせたくない状態になった場合は、機能ボタンメニューから **[Manual]** を選択するか、DAW の LAP 用 MIDI トラックをミュートしてください。

### 【表示】

セットリストに表示されている文字は下記のような状態を表します。

**Pref.画面 Send で選択した色** → 直前に LOCATE 送信した Song

**Pref.画面 Next で選択した色** → 赤字斜体の Song が終了すると、自動的に LOCATE 送信される次の Song

**水色の枠** → 上下キーや MIDI コントローラーで手動選択する場合の選択枠

この水色の枠を動かして Song を選択し、LOCATE ボタンを押すと選択した Song の位置へ DAW がロケートされます。

## 【動作に関しての補足】

- ・ Set List にある Space（MC 位置やアンコールなどのメモ欄）は、LAP 動作では無視されます。

例えば、オートロケット中「Grape」の後には「Strawberry」が、「Orange」の後には「Melon」が送信されます。

- ・ ロケットを 1 度でも操作すると、ロックがかかり「Edit」「Pref.」ボタンが無効になります。

解除したい場合は「Reset」ボタンを押してください。

- ・ Space の SongTitle/Cue と、Song の Cue は Main ウィンドウの SetList 上でもダブルクリックで編集することが可能です。

# ソフトウェア利用規約

## 第1条（使用許諾）

ライセンサーは、ライセンシーに対し、本契約期間中、本契約の条件にしたがって本ソフトウェアを使用する、非独占的、再許諾不可、譲渡不能なライセンスを許諾する。

## 第2条（権利帰属）

明示的に別段の規定がない限り、本ソフトウェア及びその一部（使用されている素材、及び付属ドキュメントを含む）にかかる権利と権益は、ライセンサーに帰属し、かつライセンサーに留保される。ここには、本ソフトウェア及びその一部において使用される著作権及び他の知的財産権が含まれる。いかなる場合も、当該権利及び権益が、ライセンサーからライセンシーに移転するものではない。

## 第3条（禁止事項）

ライセンシーは、ライセンサーの事前の書面による同意を得ない限り、次の各号に定める行為を行わない。

- (1) 本ソフトウェアの使用権を、第三者に譲渡、サブライセンス、貸与若しくは他の方法で移転すること
- (2) 本ソフトウェアを複製し、改変し、又は、逆コンパイル、逆アセンブル、復号化、又は他の方法のリバースエンジニアリングを行うこと。

## 第4条（保証の制限）

- 1、本ソフトウェアは「現状有姿のまま」でライセンスされるものとし、ライセンサーは、本ソフトウェアについて、明示黙示をとわず、一切の保証を行わない。ここには、商用性及び特定の目的への適合性が含まれる（これらに限らない）。
- 2、前項にかかわらず、本ソフトウェアの仕様に反する欠陥が発見されたときは、ライセンサーは、自己が適切と考える修正を行うよう合理的な努力するものとする。

## 第5条（契約解除）

- 1、ライセンシーにつき下記の事由が発生したときは、ライセンサーは、書面の通知によって本契約を解除し、本契約に基づくライセンスを終了することができる。
  - (1) 本契約の違反があったとき
  - (2) 支払を停止し、破産、特別清算、民事再生、会社更生、若しくは同様の手続（日本国外の手続きを含む）の申立をし、又は同様の申立を受けたとき
  - (3) 第三者との合併、事業の全部若しくは重要な一部の譲渡が発生したとき
- 2、本契約が終了したときは、ライセンシーは、ただちに本ソフトウェアの使用を中止し、本ソフトウェアと付属ドキュメントをライセンサーに返還する。

tidbit inc.  
www.tidbit.live  
support@tidbit.live